

新除草・調節剤

チ ラ ム P E B C 乳 剤

(取扱メーカー)チ ラ ム 普 及 会

〔サンケイ, テイツク,
中外, トモノ, 八洲〕

(事 務 局)東 洋 棉 花 株 式 会 社

対象作物: トマト

性状・作用特性: 本剤は, R-2061の試験名で試験が実施されてきた除草剤で, その主成分は, S-プロピル, プチルエチル, チオカーバメートを75%含む乳剤である。本剤は, 非ホルモン型の除草剤で, 揮発性があるため, 処理後土壌混層することにより安定した効果が得られる。殺草作用は, 雑草種子の萌芽時から幼芽発生時に作用し, 枯殺あるいは著しい生育抑制を示す。薬剤の吸収される部位は, 幼芽部からで, 根からの吸収はわずかである。殺草草種は, 1年生イネ科の全部およびほとんどの広葉に有効。毒性は, 急性経口毒性LD₅₀=3,200 mg/Kg (マウス), 魚毒性TLM=7.6 ppm (原体) (コイ)である。

使用方法: トマトの定植前10アール当り製品500~700ccを50~100ℓの水に稀め, 低圧噴霧器で均一に散布する。散布後, できるだけすみやかに5~10cmの深さにロータリー耕耘機またはディスクあるいはレーキ等で十分に混和する。(処理および混層は, 整地と同一作業で可)なお, 定植直後~雑草発芽前土壌処理も有効である。(トマトの葉に直接かかっても葉害はない)

使用上の注意: 土が乾いている時に散布する

ことが好ましく, 土壌水分の高い時の散布はけること。発生した雑草には, 効果がない。

フ ェ ン タ ム 乳 剤 D C P A ・ C M P 乳 剤

(取扱メーカー)日 本 化 薬 株 式 会 社

三 洋 貿 易 株 式 会 社

対象作物: カンキツ園, 下草

性状・作用特性: 本剤は, 3,4-ジクロロプロピオンアニライド(DCPA)30%と0,0-ジエチル-S-(2,5-ジクロロフェニルメルカプトメチル)ジチオホスフェイト(フェンカプトン)7%を含む茶褐色透明可乳化混合液体である。本剤は, カンキツ園用除草剤として昭和44年度より実用化された純然たる接触莖葉処理剤(土壌処理では殆んど効果なし)で, その特長としてカンキツ類に選択安全性を有し, 広範囲の一年生雑草(20~50cm程度のもの)に対しては強力殺草性を示す。但し, 宿根性雑草には, 接触剤であるため一時的に地上部を枯らす効果が落ちる。しかし, 本剤はDCPA系列の薬剤のため, 夏草には極大効果が得られるが, 低温時の春草には効果の落ちる傾向がある。

使用方法: 7~9月の夏期高温時の雑草草丈20~50cm程度の頃(梅雨明け直後頃が最も好ましい)に10a当り薬量2~2.5ℓを150~300ℓの水によく溶かし, 必ず加圧噴霧機で雑草全体によくつくように均一に散布する。なお, 葉害のおそれはないが, カンキツの莖葉になるべくかからぬようにする。